

令和4年度 第1回帯広市社会教育委員会議 議事要旨

- 1 日 時 令和4年6月9日(木) 18:30~20:00
- 2 会 場 ソネビル 6階 講習会室
- 3 出席委員 橋本 功、新川 和範、卯月 道彦、阿部 好恵、平田 昌弘、矢野 充、
鳴海 亮、松田 信幸、出村 行敬、岸田 智子、川岸 仁、野原 一行、
久保田 博己、佐々木 拓也、金谷 洋子、村上 博子
(以上16名、敬称略)
- 4 事務局 生涯学習部長 井上 猛、生涯学習文化課長 藤原 理恵子、児童会館館長
渡邊 誠克、児童会館係長 高田 裕之、生涯学習文化課生涯学習係長
大橋 由幾、生涯学習文化課生涯学習係主任 米林 史哲、生涯学習文化課
生涯学習係係員 土田 百花
(以上7名)
- 5 講 師 十勝教育局教育支援課社会教育指導班 田尾 和祐 氏
- 6 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 委嘱状交付
 - (3) 挨拶 帯広市教育委員会 生涯学習部長 井上 猛
 - (4) 報告 「帯広市岩内自然の村」の方向性について
 - (5) 議事
 - ・調査・研究について
参考講演
テーマ：生涯学習活動・社会教育活動に係る調査に向けて
講師：田尾 和祐 氏 (十勝教育局 教育支援課 社会教育指導班 主査)
 - ・その他
 - (6) 閉会
- 7 議事要旨
 - (1) 報告 「帯広市岩内自然の村」の方向性について
これまでの経過と今後の方向性について説明。令和4年度末をもって施設を廃止する
旨と、廃止後の施設について、民間事業者等による利活用の可能性があるものと判断
し、今後、利活用に向けた作業を進めていく旨を説明。

〈意見・質問なし〉

(2) 調査・研究について

調査研究のこれまでの活動と、本日の活動内容である、調査研究の見学先決めの方法について説明。

○委員

今回の調査・研究活動の中で出た意見について、帯広市（教育委員会）の生涯学習活動に反映されるということか。

○事務局

今回の調査・研究は、社会教育委員の皆様自身の学びが目的の活動である。見学を通して各団体で活かすことのできる学びの他、教育委員会へ望むことについてご意見が出た場合は、頂いたご意見を重く受け止めるが、必ず反映できるものではないということをご了承いただきたい。報告書としてまとめをご提出いただいた後、HP等で広めていく。

○委員

委員に対し何を求めているのか、絞って教えていただきたい。

○事務局

今回新しく用意した事前アンケート結果（資料2-2）を元に『4つの知りたいこと』について学ぶことができると思う見学先を第4希望まで選び、その理由もお答えいただきたい。

○委員

ただ興味のある場所を選ぶというよりは、4つのバランスを考えて見学先を決めることが大事だと思う。また、事前アンケート結果を読み込む必要があると感じた。

○事務局

この後田尾氏から講話に加え、各団体の特徴についてお話を頂く。資料の量が多く、読み込む時間も少ないため申し訳ないが、一度講話を聞いていただき、各団体についてのご質問等を受け付けたい。

〈了承〉

○講師

社会教育で求められていること、調査・研究で着目するポイント、各見学先候補の特徴について説明。

〈意見・質問等なし〉

〈グループワーク、その後各グループでまとめの発表〉

○委員長

皆様から頂いたご意見を元に、事務局と共に改めて検討し、最終的な見学先を提示したい。

(3) その他

○委員

Zoom の利活用が大切ということで、一度 Zoom で社会教育委員会議に挑戦してみたいかがか。リモート機器の使用が難しい委員に対してはどのようにサポートできるかどうか、考えて実施することで、委員の学びにもつながると考える。

○委員長

Zoom を活用した会議について事務局の方で再検討する。

以上